



交流促進 プロジェクト

人々がふれあい 活気あふれるまちを目指して

美

郷町総合計画「後期基本計画」では、将来の美郷町のために特に力を入れる施策を「まちづくり戦略プロジェクト」と位置づけています。その一つである「交流促進プロジェクト」では、豊穡な大地からの恵み、風光明媚な自然、笑顔あふれる人々、これらの誇れる資源を全国に発信し、さらに人々が集い、ふれあい、活気あふれるまちをつくることを目指しています。

学習交流の推進

東京都大田区や港区御田小学校との学習交流を支援するほか、修学旅行生や観光客の農業体験の受け入れを支援します。

友好交流の推進

大田区や長野県東御市、栃木県那珂川町との行政交流を推進するとともに、文化・教育・経済等の多様なジャンルでの交流拡大を目指します。

東京都港区 御田小学校



御田小学校で歓迎を受ける千屋小学校の児童の皆さん



千屋小学校で行われた野菜収穫パーティー

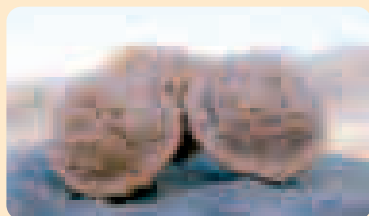
学びの交流

千屋小学校・御田小学校交流事業

千屋小学校では東京都御田小学校との「双方向交流」事業を行っており、7月20日から7月22日にかけて、御田小学校児童50名が美郷町を訪れました。千屋小学校でのセレモニーで歓迎を受けた後、それぞれのホームステイ先に分かれ、川での釣りや清水めぐり、町内観光など通じて美郷の自然や文化を体験しました。最終日には、美郷産の野菜を集めた「野菜収穫パーティー」が開催され、子どもたちは新鮮なトマトやきゅうりをほおぼりながら、交流を深めていました。慣れない土地に最初は緊張した様子でしたが、御田小学校の子どもたちでしたが、ホームステイ先の家族とのふれあい、自然とのふれあいを通じて、多くの笑顔と思い出を残しながら美郷町を後にしました。

また、8月3日から8月5

日にかけては、千屋小学校児童20名が東京都港区にある御田小学校を訪問しました。千屋小学校の児童たちは、ホームステイ先の家族と東京都内を散策したり、御田小学校の校庭で水遊びをしたりするなど、都会での体験を満喫していました。このほか、美郷町産の野菜を使ったカレーが振る舞われると、御田小学校の子どもたちと一緒に堪能していました。千屋小学校の児童が帰路に就く際には、「また来年も来てね!」と御田小学校の児童たちがバスにかけ寄り、声をかけて見送りました。今年で36回目を迎える両校の交流も、千屋小学校としての交流は今年で最後となります。交流を通じて多くのつながりを得た子どもたちは、将来へ向けて日々成長を続けています。



東御市の特産品クルミ



歌川広重の肉筆画等が展示されている那珂川町の馬頭広重美術館

長野県東御市は、東京都大田区と友好都市提携を結んでおり、大田区で開催される物販イベント等を通じて美郷町との交流を深めてきました。昨年10月には防災協定を締結、災害発生時の相互の協力体制を整えました。栃木県那珂川町とは、旧仙南村と旧小川町が同じ面積だったことがきっかけで、平成2年から交流を開始。町村合併後も双方の職員が課題解決等のスキル向上のため、行政研修を通じて交流を深めてきました。町では、この両市町との交流をさらに深め、観光や特産品に関する情報交換を行うとともに、道の駅等の直売施設を活用し、それぞれの自治体の魅力を発信し合う体制づくりを推進していきます。

長野県東御市・ 栃木県那珂川町